

令和8年度 第2回美里地域会議 会議録

日時：令和8年5月14日（木）午後7時～8時30分

場所：美里交流館 2階 中会議室

出席者：＜地域会議委員＞清水 幸男、鈴木 智映子、高橋 重樹、手嶋 英之、
野村 耕一、原 淑子、吉本 勝、渡邊 慎大

（欠席）加藤 智江、小林 健一、鈴木 美喜世

＜高橋支所＞ 前田支所長、太田副支所長、河野主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 高齢者実態調査結果に基づく優先的取組事項の検討

今後、美里地域会議が優先して取り組むべき高齢者福祉の課題分野および解決策の案について、事前に配布した調査票を基に、委員が調査票に記載した内容およびその理由を順に発表した。

また、会議を欠席した委員のうち、事前に調査票を提出していた分については、事務局が内容を代読した。

その後、事務局において調査票を集計し、6つの課題分野のうち、委員が選択した第1位から第3位までの結果をもとに、優先度の高い課題分野を整理した。

【意見抜粋】

①人とのつながり

- ・地域活動に参加する人がいつも同じで、参加しない人は近隣住民との関わりが少なく感じている。まずは挨拶など、日常的な関わりを増やすことが大切だと思う。
- ・地域活動に参加してもらうには、友人や知人からの誘いが一番効果的で、知らない人ばかりの場には行きづらいと感じている。
- ・高齢者同士の横のつながりだけでなく、子どもや若者との縦のつながりも必要だと考えている。
- ・地域のつながりを深めるには、住民をまとめるリーダーの存在が欠かせないと感じている。
- ・「まだ動けるが役割がない」高齢男性を地域につなげる仕組みが必要だと思う。
- ・閉じこもりがちな高齢者は声をかけるだけでは出てこないことが多く、まずは1か所から始めて少しずつ参加者を増やす丁寧なアプローチが必要だと感じている。
- ・小学生への挨拶など、ちょっとした行動でも地域の役に立ち、生きがいや楽しみにつながると考えている。

②健康

- ・運動は一度にたくさんやるのではなく、無理なく続けられる形が良いと感じている。歩けなければ人とのつながりも生まれにくい。
- ・「要支援・要介護になる前」の高齢者を対象にするなら、健康づくりの視点は特に重要だと思っている。

③地域参加

- ・地域活動の担い手が固定化しており、もっと多くの住民に参加してもらえる工夫が必要だと感じている。
- ・ふれあいサロンは交流の場として有効で、参加者同士の見守りや防災情報の共有にもつながると考えている。

- ・20人程度の小規模サロンを複数つくれば、様々な人が参加しやすくなると思う。
- ・高齢者でも年代によって関心が違うため、60代・70代・80代など年代別のグループがあっても良いと感じている。
- ・元気アップ活動をしてきたグループが、身体的に活動が難しくなっても、そのままサロンとして続けられる仕組みがあると良いと思う。
- ・気軽に立ち寄れる場として、区民会館をもっと活用できると良いと感じている。
- ・美里交流館や高橋コミュニティセンターを使って、介護・民生委員・お助け隊などの相談先を紹介する情報交換会ができると良いと考えている。
- ・地域活動を続けてもらうには、活動に応じてポイントがもらえるなど、参加するメリットがあると良いと感じている。

④安心・安全

- ・獣害や災害への意識を、もっと多くの住民が持つ必要があると感じている。
- ・サロンの場合は、参加者同士の見守りや防災情報の共有にもつながると考えている。
- ・県営・市営住宅の空き部屋を使って、サロンや防災教室を定期的に開けると良いと思っている。

⑤日常生活での移送

- ・ボランティアによる移動支援や、民間タクシー会社との連携による移動支援の仕組みが必要だと感じている。
- ・各自治区で移動支援専用車が用意できると良いと思う。
- ・豊田市は名古屋と比べて公共交通が充実しておらず、高齢者にとって移動の課題は大きいと感じている。
- ・免許返納後も安心して移動できるよう、タクシーやバスをもっと利用しやすくしてほしいと考えている。
- ・外出への支援は、人とのつながりや健康にも良い影響があると感じている。

⑥その他

- ・支援が必要な人の情報を民生委員・社協・自治区で共有できる仕組みをつくり、地域会議で総合的に受け止められる体制があると良いと考えている。
- ・自治区や民生委員の会議に地域会議も参加し、地域と一緒に事業を考えていきたいと感じている。
- ・自治区役員は高齢者が多く、負担を減らす仕組みが必要だと感じている。
- ・美里地区は企業で働いてきた人が多く、退職後に地域とのつながりを保ちにくいという課題を感じている。

4 優先的取組事項の決定

委員から寄せられた意見を集約し、意見数の多い順に整理した結果、「人とのつながり」「日常生活での移動」「地域参加」「健康」「安心・安全」「その他（相談先が少ないなど）」の順で優先度が高い項目として位置づけられた。この位置づけについては、委員に最終確認を行い、同意を得た。

なお、これらの優先度は、今後の解決策を検討するうえでの大まかな方向性を示すものであり、優先度の高い項目のみを検討対象とするものではない。

また、各課題分野は相互に関連しており、独立したものとして扱うのではなく、分野間の連携を踏まえて解決策を検討していくことを前提として、今後の事業検討を進める。

5 事務連絡

第3回美里地域会議について

- ・日時 令和8年6月11日（木）午後7時～
- ・場所 美里交流館 2階 中会議室